

(一社) 日本家政学会平成 27 年度第 4 回理事会議事抄録

開催日 : 平成 28 年 1 月 9 日 (土)
開催方法 : 日本家政学会会議室
出席者 : 牛腸会長、香西筆頭副会長、島崎副会長、
田島副会長、赤塚、東、今井、岡部、小川、
河田、久保、杉山、長山、増井、渡辺各理事
石井監事、平田監事

議題

【議案】

1. 入会申し込み者について

1) 入会申し込み者、平成 28 年度永年会員資格者について

香西副会長より、平成 27 年 9 月 26 日～平成 28 年 1 月 8 日の入会申込者 17 名について説明があり、承認した。平成 28 年度永年会員候補者 10 名が紹介された。

2) 規程等集の改正について

①学会賞(功労賞)授賞規程について

香西副会長より、一般社団法人日本家政学会功労賞選考に関する申し合わせの改正(案)が提案され、承認した。

②事務職員の就業規則(服務)について

香西副会長より、ハラスメント担当窓口の設置他について、一般社団法人日本家政学会就業規則当該規程第 8 条に反映させることが提案され、承認した。

2. 第 68 回大会(中部支部)について

1) 概要

田島運営委員長より、日程およびタイムスケジュール等が紹介された。

2) 公開講演会・教育講演・大会活性化企画等

田島副会長より、教育講演会内容が報告された。大会活性化のための活動助成の申請企画 5 件について、活動助成案が提案され、承認した。本部企画として「生活と工学のコラボレーション—大学院生活工学共同専攻の発足—」の講演 2 題が提案され、承認した。

3) 平成 28 年度代議員総会について

香西副会長より、理事宛、部会長ならびに若手の会代表宛の代議員総会資料作成依頼書が提案され、承認した。

第 3 号議案 平成 28 年度被服学関係部会合同夏季セミナーについて

牛腸会長より、日程は平成 28 年 8 月下旬の 2 泊 3 日、場所は実践女子大学渋谷校舎とし、全体講演会、各部会企画、見学会 3 コースを企画し、4 月から告知予定であることが報告された。島崎副会長から、平成 28 年度事業計画に合同夏季セミナーを組み込むことが提案され、承認した。H29 年度被服合同セミナー予定であり、H30 年度以降は夏季セミナーが本学会年次大会

に相当する事業となるよう理事会に協力要請がされた。

4. 学会賞、奨励賞の選考、並びに功労賞の推薦について

田島副会長より、学会賞および奨励賞選考委員会により学会賞候補者は京都ノートルダム女子大学 中村久美氏と和洋女子大学 布施谷節子氏、奨励賞は倉敷市立短期大学 太田茜氏が提案され、理事の投票により承認した。また、功労賞授賞候補者については、功労賞推薦委員会により大妻女子大学市川朝子氏が推薦され、承認した。

5. 企画・広報委員会

1) 平成 28 年度 1 期活動助成について

田島副会長より、平成 28 年度活動助成募集要項は活動助成総額予算を前年度レベルの 70 万円を目途としていることを含め提案があり、承認した。若手の会の代表が、文化学園大学柚本玲氏から東北生活文化大学小野寺美和氏に交代することが提案され、承認した。

6. ホームページ委員会

なし

7. 国際交流委員会

なし

8. 編集委員会

なし

9. 東日本大震災生活研究プロジェクト研究会

小川理事より、平成 26 年浦上食品・食文化振興財団活動助成報告書の提出、各グループの調査状況等が報告された。平成 28 年度計画として、第 68 回大会報告会にて「東日本大震災生活 J SHE 生活研究プロジェクト活動報告」の開催、平成 28 年 11 月に建帛社より震災から 5 年間の活動をまとめ出版、聞き取り調査や生活支援活動を継続して実施、平成 28 年 10 月には石巻の食についてのブックレットの発行などの計画が提案され、承認した。また、本プロジェクトの平成 29 年から後半 5 年間の第二期研究者募集が提案され、承認した。平成 28 年度のこれらの活動について学会として平成 27 年度と同様に支援を行っていくことを承認した。「炊き出し衛生マニュアル」を学会誌と一緒に会員に送付することが提案され、承認した。

10. その他

1) 協賛・後援等名義使用依頼について

なし

2) 特別委員会について

牛腸会長より、「家族生活アドバイザー資格検討準備委員会」を 3 月末日まで設置し、「家族生活アドバイザー」が本家政学会の資格とするか継続できるか等を前向きに検討することが提案され、承認した。

3) 名誉会員推薦について

牛腸会長より、名誉会員推薦書が提出された際には、香西副会長と総務3名および田島副会長で委員会を構成する「名誉会員審査委員会」を立ち上げることが提案され、承認した。

【報告】

1. 退会申出者及び会員動向

香西副会長より報告された。逝去者は物故にも記載することとした。事務局長から、本人からの申し出があれば旧姓（新姓）で登録することが説明された。

2. 支部関係

各支部長より、活動実績および予定が報告された。

3. 総務関係

なし

4. 財務関係

島崎副会長より、平成27年度会員減は例年並み、一般社団法人移行は本年度予定通り終了見込、平成28年度事業計画に本部企画として夏季合同セミナーの予算化が報告された。支部費予算のあり方を財務担当で検討して新たに提案することとなった。

5. 企画・広報委員会

なし

6. ホームページ委員会

なし

7. 国際交流委員会

赤塚委員長より、IFHE2016 プレコンgres日程は2016年7月27～29日に決定、IFHE会費納入は2月のみ送金サービス実施、日本家政学会第68回大会「国際交流ワークショップ：IFHE2016発表に向けて」実施が報告された。

8. 編集委員会

今井委員長より、日本家政学会誌論文の投稿数減少および査読者確保の厳しい現状が報告され、編集委員会で対策を講ずることとした。

9. 東日本大震災生活研究プロジェクト研究会

小川理事より、研究プロジェクト報告会について石巻専修大学での実施が報告された。

10. その他

1) 刊行委員会について

香西副会長より、児童学事典の丸善から発行に続き、別分野の刊行検討が報告された。

2) 暮らしカフェについて

田島副会長より、3月12日防災について、講演は中島明子氏、コーディネーターを戸田泰男氏、場所は成城コルティで開催予定であることが報告された。

3) 生活科学系コンソーシアムについて

杉山理事より、第7回生活科学系博士課程論文発表会の周知、次年度第5回シンポジウムのテーマ案依頼があった。

以上